

12月定例会一般質問始まる



伊吹・山東地区には山東庁舎は必要。2庁舎方式での検討を

庁舎問題・住民投票・介護保険を問う

米原市民報

No502 2015年12月6日

日本共産党米原市議団

清水隆徳 Tel52-1969

藤田正雄 Tel55-1128

太田幸代 Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

一般質問の発言通告内容

◎清水議員の質問内容

- 1、庁舎問題を問う
- 7日第1番（午前9時30分頃）

◎藤田議員の質問内容

- 1、自治基本条例第17条「市民投票」での要件を定めた条例制定について
- 2、介護保険要支援者の「総合事業」移行について問う
- 7日第5番（午後2時30分頃）



米原革新懇集い 開催される

米原革新懇は、11月28日午後2時から山東公民館において、滋賀県政を考える集いを開催し、15人が参加しました。

明るい滋賀県政をつくる会代表委員の辻義則さんより、会が知事選挙の確認団体として県民要求運動の先頭に立ち、栗東新幹線駅建設反対運動や、脱原発運動に取り組んできたこと、今来年度予算に向けて中学校

お知らせ

太田議員は、出産のため12月議会はお休みされます。ただ庁舎問題など重要案件もあり可能な限り出席したいとの思いです。議会でも前例のないことで受け入れる体制が不十分ですが、少子化が進む中でおめでたいことです。是非元気な赤ちゃんを産んで、議会に返ってきてほしいです。

（藤田）



2015年12月議会が12月3日から開会されました。一般質問については1日に締め切られました。日本共産党米原市議団から、清水議員と藤田議員が12月7日に質問に立ちます。今回は一般質問は7人と低調な議会となっております。清水議員は庁舎問題での日本共産党米原市議団の新たな提案を行います。また藤田議員は住民投票と介護保険の質問を行います。是非傍聴ください。

までの医療費無料化や国保税、介護保険料の引き下げを県が実施するよう「県民要求署」に取り組んでいることへの報告がありました。

湖北初の日本共産党滋賀県議会議員として活躍されている杉本敏隆さんからは、2回の県議会を経験して知事の基本姿勢が「消費税は社会保障の財源としてふさわしい」と答弁する一方、新しい図書館に50億円、びわ湖ホルルの維持費に毎年9億円、彦根の国体施設に180億円など、県民の暮らしを応援する立場に立ちきれていないと批判しました。また、この半年間で、市民要求実現に走り回り、4回の県政報告のチラシを全戸配布するなど、県政を身近なものにするためがんばっていますと報告されました。

質疑は県政市政問題など多く出され、予定の2時間を超えて行われました。

